

## 提出金名：世界保健機関提出金

国際機関等名	世界保健機関 (略称) WHO												
種 別	国連本体 ○国連専門機関		その他										
所轄官庁担当局課名	厚生労働省大臣官房国際課												
最近3年間の我が国支払額及び提出率、ODA率													
単位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ドル)	外貨2	レート	提出率(%) (注)	ODA率(%)							
平成14年度	1,269,898	10,409		1\$ = 122 円	(2002年) 3.3	74.6							
平成13年度	1,577,180	14,740		1\$ = 107 円	(2000年-2001年)	90.9							
平成12年度	1,684,200	16,040		1\$ = 105 円	4.6	91.4							
提出上位5ヶ国													
	国 名	率(%)			左の率及び順位は 2002年のもの								
1位	米国	26.5											
2位	英国	22.5											
3位	ノルウェー	11.3											
4位	オランダ	9.1											
5位	カナダ	8.7											
当該機関に対する我が国としての評価(当該機関の政策に対する我が国の意見の反映度を含む)													
WHOは「全ての人々が可能な改装の健康水準に到達すること」を憲章上の目標として掲げる国連専門機関として、ポリオや結核対策等の感染症対策、必須医薬品や食品保健などの基準づくり等、途上国への技術支援を含む保健衛生分野の様々な事業を展開している。我が国はWHOを主要な専門機関の一つと位置づけ、主要加盟国としてWHOの活動を支持している。特に、我が国が所属するWHO西太平洋地域については、日本人の尾身地域事務局長率いる西太平洋地域事務局の活動を高く評価し、重点的な支援を行っているところであり、WHOとしても我が国を任意提出金を含む財政支援の主要パートナーとして重視している。													
合理化、機能強化のための改革が行われているか。 行われている場合はその現状と我が国としての評価													
1998年7月に就任したブルントラント事務局長は人事・予算等の業務の効率化を掲げ組織改革を推進、分野に着目した事業部門別の組織再編を行った。しかし、関連事業分野での連携は一定程度推進されたと評価されたものの、度重なる人事異動や人事マネージメントの分散化に伴う非効率性が指摘され、必ずしもその成果は高く評価されてない。													
事業予算については、1996年以来、連続8年間名目ゼロ成長を維持、その間、事業拡大への対応は事業予算執行の効率化とドナーからの任意提出金により賄われてきた。我が国としては、なお事業予算効率化の余地があり、名目ゼロ成長の維持を主張している。													
邦人職員数 うち幹部以上	44 人 うち 4 人	当該機関の職員数及び 邦人職員が職員全体にし める率		1,411人 3.1%									
邦人職員が占めている幹部ポスト													
ポストの名称(ランク)	職 員 氏 名	備 考											
西太平洋地域事務局長	尾身 茂	厚生労働省											
WHO国連連絡事務所長	古知 新												
WHO神戸センター所長	川口 雄次	厚生労働省											
実証医療政策部課長	川端 けい												
当該機関重要ポストへの邦人職員送り込みについての具体的な計画													

(注)我が国と各国とは会計年度が異なるため、提出率については曆年(2000年~2002年)。